

プラスチック産業廃棄物は資源です ～リサイクルは分別が大切です～

プラスチック廃棄物（廃プラスチック類）の処理コストに悩んでいませんか。実はプラスチック廃棄物は、同じ種類のプラスチックであっても排出の仕方により処理コストが大きく変わります。焼却や埋立よりもリサイクルした方が処分費用は安くなり、場合によっては有価物にもできます。

処理業者に見積もりを取る前に次の改善ができないかも検討しておきましょう。処理業者の立場にたって排出方法を工夫すれば、大きな処理コストの削減が可能です。

プラスチック分別リサイクルのための4つの改善

1 汚れや異物を取り除きましょう。

プラスチックを資源として利用するためには、汚れたものや異物の除去が必要です。もし汚れや異物があるものを委託すれば、そのコストを処理業者に支払わなければなりません。できるだけ汚れたものや異物は取り除いて、きれいなものを排出しましょう。

2 異なるプラスチック廃棄物は混ぜず、分別しましょう（樹脂の種類、添加物、色等による分別）

異なる種類のプラスチックを混ぜてしまうと、用途が限られ価値が下がります。また、同じ種類のプラスチックでも、添加物の種類や色が混ざってしまうと価値が下がります。同じ工程の中で発生しても、部品ごとに分別するなどの工夫が望ましいです。

細かい分別がどうしてもできない場合は、硬質樹脂と軟質樹脂、塩素含有の有無だけでも分けると、リサイクルに使いやすくなります。

3 できるだけ運搬しやすい梱包・荷姿で排出しましょう。

プラスチックは比重が小さく、軽いため、重量あたりの保管・運搬コストがかかります。保管・運搬コストを下げられるよう、できるだけ梱包・荷姿を工夫しましょう。

4 均質なロットでまとめて排出しましょう。

廃棄物は均質なものを大量ロットで排出した方が、運搬コストが下がります。排出量の多いプラスチックを重点的に分別するなどの工夫をしましょう。

排出現場に近いほど分別が容易です。

排出現場を見直し「プラスチック廃棄物は混ぜない」を進めましょう。

公益財団法人 新潟県環境保全事業団
新潟県地球温暖化防止活動推進センター
〒950-2144 新潟市西区曾和 1182 番地
TEL : 025-264-2144 FAX : 025-239-5755
E-mail eco-act@eco-niigata.or.jp

